

本町の冠協賛試合は、今年で  
4回目。スタジアムの至るところ  
に「意外と近い桃のまち、桑折町」  
と記されたのぼり旗が立てられ、

ともに町をPRしました。

## スタジアムを彩る「献上桃の郷」

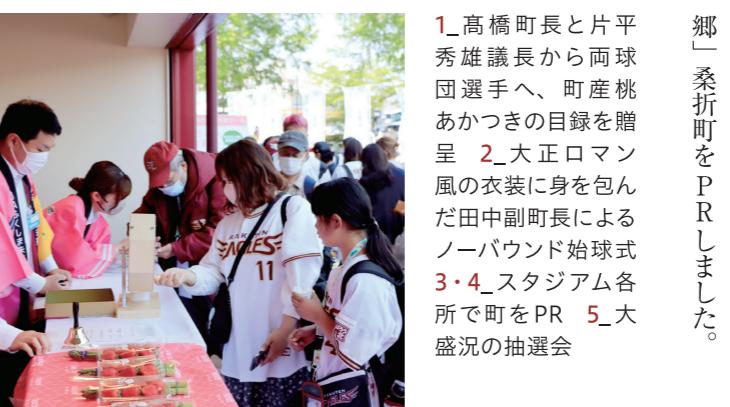
東北楽天ゴールデンイーグルス  
献上桃の郷 桑折町デー

# 桑折町一色



6\_来場者に町のガイドブックや  
イベントのチラシなどを配りPR  
する町職員 7\_大型ビジョンに  
映し出された町ロゴマークを背  
に、町のうちわや手作りのホタ  
ピーのパネルなどで町をPRす  
る町民のみなさん

大型ビジョンやテレビモニターに  
町ロゴマークが映し出されるな  
ど、約2万人の観客に「献上桃の  
郷」桑折町をPRしました。



1\_高橋町長と片平秀雄議長から両球団選手へ、町産桃あかつきの目録を贈呈 2\_大正ロマン風の衣装に身を包んだ田中副町長によるノーバウンド始球式 3・4\_スタジアム各所で町をPR 5\_大盛況の抽選会

6\_JAふくしま未来や伊達果実農協職員の協力や農産物の提供、福興産業株より観戦チケットの提供をいただきなど、町民や企業団体、町が一体となり町の魅力を多くの人に発信できた日となりました。

7\_テージでは、高橋宣博町長と田中香代子副町長が登壇し、町の桃や歴史などを紹介。始球式では、田中副町長が袴姿で登場し、今年で開庁140周年を迎える旧伊達郡役所をPRしました。

8\_JAふくしま未来や伊達果実農協職員の協力や農産物の提供、福興産業株より観戦チケットの提供をいただきなど、町民や企業団体、町が一体となり町の魅力を多くの人に発信できた日となりました。

# 新緑を楽しむ 半田山山開き2023

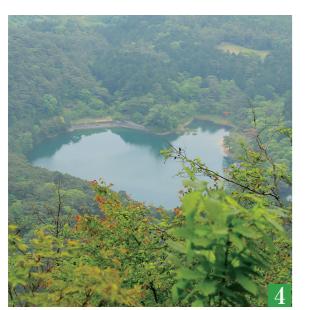


1\_参加者に配られた記念バッジやトートバッグ 木札 2\_安全祈願祭 3\_キャンプ場登山口より山頂を目指し歩く参加者 4\_山頂付近から見えるハートレイク半田沼

## 新緑の半田山

町のシンボル半田山（863m）の山開きが5月14日に開かれました。小雨が降る中、約300人が参加し、みずみずしい新緑の中を、山頂を目指しました。

当日は、半田銀山太鼓銀粟保存会の祇園ばやしの演奏で参加者を迎え、益子神社による安全祈願祭を行い、今年1年の登山者らの安全を祈りました。参加者は、足元に咲く花々を眺めたり、半田沼がハート型に見えるビューポイントで写真撮影をしたり、少し霧がかかった幻想的な半田山登山を楽しみました。



5・6\_鳥のさえずりや雨で濡れた匂いを感じながら一步一步登っていく参加者 7・8\_半田山管理センター前では、地元物産販売や福島県もりの案内人による木工体験が行われ、参加者を楽しませました 9\_約1時間かけてたどり着いた山頂で記念撮影 10\_昼ごろには雨が止み、半田沼を眺めながら昼食をとる人など、穏やかな時間が流れました